

●第13回臨床解剖研究会のご案内

会 期：2009年9月26日（土）

会 場：東京医科大学病院 6F 臨床講堂（〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-7-1）

当番世話人：伊藤 正 裕（東京医科大学人体構造学主任教授）

実行委員長：宮 木 孝 昌（東京医科大学人体構造学准教授）

演 題 募 集：一般演題を募集いたします。応募要項は当番事務局（東京医科大学人体構造学講座）のホームページをご覧ください。 <http://www.tokyo-med.ac.jp/anatomy/>

演題募集期間：2009年3月30日（月）～6月20日（土）

当番事務局・問合せ先：第13回臨床解剖研究会事務局

〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1 東京医科大学人体構造学講座

TEL: 03-3351-6141 FAX: 03-3341-1137

<http://www.tokyo-med.ac.jp/anatomy/> e-mail: clinanat@tokyo-med.ac.jp

* * *

●編集後記

臨床解剖研究会記録 No. 9 をお届けいたします。発行に当たってお世話になりました方々に厚く御礼申し上げます。本号は、昨年7月に東京医科歯科大学にて行われた第12回臨床解剖研究会の記録です。当番世話人の杉原健一教授と教室の皆様のご尽力により、多数の方々にご参加いただくことができました。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

1993年にヴェサリウスの『人体構造論』（ファブリカ）出版450年を記念して行われた小集いを核として1997年に創立された本会も、年次学術集会を12回重ねるに至りました。毎回充実した発表がなされ、解剖と臨床両サイドの討議も白熱し、互いに裨益するところが多く、出席するのが楽しい会に成長したと思います。この報告集を年次順に並べて通覧してみると、鏡視下手術、画像診断等の驚くべき進歩の影響を受けて臨床解剖学のカバーすべき範囲も拡大かつ深化していることが実感されます。また創立にあたった先生方が定年を迎え、否応なしに世代交代の時期に来ているようであります。ここ2、3年で新しい革袋を用意し、若手による開拓精神とベテランを活用した文化伝承が両立する会が存続成長するように努めたいと思います。

さて、昨年4月から本研究会でもホームページ上で既刊の『臨床解剖研究会記録』のPDF版をご覧いただけるようになりました。皆様にご利用いただけることを願っております。

立春間近ではありますが、残寒の折ご自愛をお祈り申し上げます。

（会長 佐藤達夫）

臨床解剖研究会記録 No. 9 2009年2月発行

編集・発行 臨床解剖研究会

東京医科歯科大学臨床解剖学

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL 03-5803-5145 FAX 03-5803-0116

<http://www.jrsca.jp/>

印刷・製本 小宮山印刷工業株式会社
